



主体的に考える力の育成をめざして

～めあてをもち 振り返り 次のめあてを～

校長 芦垣 幸代

令和2年度末、本校の学校教育目標を念頭に置きつつ、児童の実態や教職員の振り返りをもとに、学校全体で育成を目指す子どもの姿を全教職員で確認しました。「自分に自信をもってほしい」「自分もまわりも大切にしてほしい」という願いから、「自分に自信をもてるように」「自分を大切にできるように」学校教育で育みたいことを考えていきました。令和3年度から「主体的に考える力」「思いや考えを伝える力」「自他を受け入れる姿勢」の育成を目指し取り組んでいます。今年の夏休みに、「目指す姿って具体的にどんな姿だろう」「今、子どもたちはどんなところが育っているだろう」「夏休み明けからみんなで取り組んでいくことを確かめよう!」と、全職員で、数回に分けて語り合いました。

その中で、単元のゴールの姿や単元の目標、そのための学習計画、毎時間のめあてなどを、教科や単元に応じて子どもたちと作っていくこと（確かめていくこと）、めあてに対する振り返りを行い、学びを調整したり、粘り強く挑戦したりする力をつけていくことを確認しました。話すための考える時間を設定することや、話したり聞いたりする国語の力も段階的にしっかりとつけていくこと、話の聞き方については、誰の話も最後まで聞くということを改めて指導していくことも確認しました。さらに、「伝える」「受け入れる」につながる「挨拶」も、今行っている代表委員会の活動を軸にして学級で取り組み、全校に広げていくことも引き続き取り組みたいことでした。自分で学習計画を立て、めあてを確認し、振り返るときにもつことができる、自分や友達の考えと向き合う視点や友達との認め合いなども次の学びの意欲につながることを実感します。

「話す・聞く」内容の国語の授業



子どもたちとめあてを整理。一人ひとりの今日のめあてにマーク。

学習の最後に振り返り。めあてのキーワードを「できた」「まだまだ」と上げ下げできるようにしています。

提案書を作る。「体験学習でやりたいことを校長先生に提案しよう」

今日の学習はここ。
「うまく書けたし、たくさん思い出せたし最高だった。説明をもっとうまくできるようにしたい。」
(この日の振り返り)

